

グアテマラ：新たな投資段階を支える基盤づくり

グアテマラ経済大臣
ガブリエラ・ガルシア



経済開発分野で25年以上の経験を有し、貿易促進、外国直接投資の誘致、制度基盤の強化を主導。競争力強化、官民連携の推進、産業構造の高度化に注力。米アメリカン大学（ワシントンD.C.）にて開発マネジメント修士号および国際関係学学士号を取得。

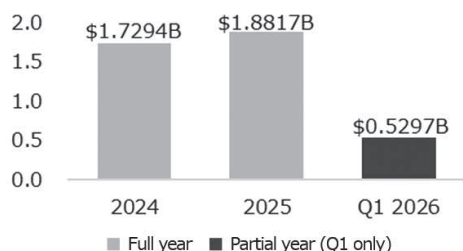
企業による投資判断は、その国に対する評価を反映するものです。企業は投資先を評価する際、制度の質、人材の確保のしやすさ、そして成長の可能性を重視します。グアテマラにとって、投資誘致は長期的な発展を促進し、国民により多くの機会を創出するための重要な手段です。

このような視点から、私たちは外国直接投資（FDI）を単なる資本の流入以上のものととらえています。1つひとつの投資プロジェクトは、知識をもたらし、イノベーションを促進し、地域のサプライヤーを強化し、雇用を創出するとともに、人々がより高い付加価値を生み出す産業へ参画する機会を広げます。このため、投資誘致の成果は、グアテマラの潜在力に対する信頼の表れであると同時に、より包摂的で持続可能な発展を促進する機会でもあります。

投資実績が示すグアテマラへの信頼

近年の実績は、この流れを裏付けています。2025年のグアテマラへのFDIは18億8170万米ドルに達し、過去最高を記録した2024年に次ぐ、史上2番目の水準となりました。さらに、2026年第1四半期のFDIは5億2974万米ドルとなり、前年同期比6.88%の増加を記録しました。年間では20億6500万米ドルを超えることが見込まれています。

グアテマラへのFDI（US\$ billions）



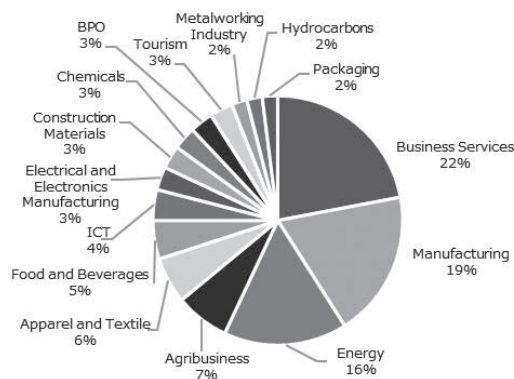
さらに、グアテマラでは現在、さまざまな経済分野で67社が投資プロジェクトを検討しており、多様な投資ポートフォリオと、国際投資家による継続的な関心の高さを示しています。こうした定量的な成果に加え、投資は質的な変革ももたらしています。FDIは、新たな技術の導入を促進し、生産活動における連携を強化し、企業のイノベーションを促進するとともに、国内企業がより高度なバリューチェーンへ参画する機会を創出します。

こうした信頼は、世界三大信用格付機関の評価にも表れています。Fitch Ratings、Moody's Ratings、S&P Global Ratingsはいずれも、グアテマラを投資適格級まであと一段階の格付けと位置付けており、同国のマクロ経済の安定性、健全な財政運営、そして強固な経済基盤を評価しています。これらの評価は投資家の信頼をさらに高めるとともに、グアテマラが長期的な投資先として高い魅力を備えていることを裏付けています。

長期的な発展を見据えた投資戦略

これらの成果は重要な前進である一方で、公共政策

業種別投資案件（2026年7月現在）



に新たな責任ももたらしめています。投資を呼び込むことは第一歩にすぎず、その投資を通じて国内人材を育成し、イノベーションを促進し、新たなバリューチェーンを形成するとともに、次世代の発展機会拡大に向けた環境整備が重要です。2026年7月時点では、進行中の投資案件はサービス業（22%）、製造業（19%）、エネルギー分野（16%）を中心としており、農業関連産業、食品加工、繊維、電子機器などへの投資も進められ、グアテマラ経済の多様化が着実に進展していることがうかがえます。

こうした考えに基づき、グアテマラ経済省は「外国直接投資誘致国家戦略（National Foreign Direct Investment Attraction Strategy）」を策定しました。この戦略は、投資の勢いを長期的な発展政策へと転換することを目的としたロードマップです。本戦略では、大きな変革をもたらす投資には、それを支える制度、新たな産業ニーズに対応できる人材、そして官民・学術機関・国際パートナー間の効果的な連携が不可欠であるとの考え方に立っています。

本戦略は、投資促進活動の方向性を示すだけでなく、関係機関の取り組みを共通の優先課題のもとで連携させ、グアテマラへの投資を検討する企業に対して、より高い予見可能性を提供します。また、長期的なビジョンを示すことで、政策間の連携を強化し、より予測可能な投資環境を促進するとともに、能力開発と協力を軸に関係機関の取り組みを体系化し、グアテマラの競争力向上につなげています。このように、投資は単なる資本の流入ではなく、国の生産構造の変革を加速させるための手段として位置付けられています。

重点産業としての半導体分野

このビジョンの一環として、グアテマラは新たな経済成長を牽引する可能性をもつ16の重点産業分野を特定しました。これらの分野は、投資誘致力、技術導入、質の高い雇用創出、生産活動における連携強化といった観点から選定されています。この重点化により、生産性の向上と経済の多様化に資する分野へ官民双方の資源を集中させています。また、多様化は、技術革新やグローバル・バリューチェーンの変化に対応できる、より強靱な経済を構築するための重要な要素であると位置付けています。

その重点分野のひとつが、電子機器・半導体産業です。近年、世界的なサプライチェーンの再編や先端技術への需要拡大により、グアテマラにも、より高度な技術産業へ参画する新たな機会が生まれています。しかし、その機会を生かすためには、投資が到来する前

から準備を進める必要があります。

このような状況の中で、高付加価値型の投資を誘致するためには、専門人材の確保、イノベーション能力、そして機関同士の連携が決定的な要素となっています。今日の競争力は、もはやインフラや地理的条件だけで決まるのではなく、知識を創出し、技術革新に適応し、新たな産業が求める人材を育成する能力にも大きく左右されます。

「Ruta del Chip Guatemala」が切り拓く未来

こうしたビジョンから生まれたのが、「Ruta del Chip Guatemala（チップ・ルート・グアテマラ）」です。この取り組みは、政府、大学、民間企業、そして国際パートナーが連携し、半導体産業に必要な人材を育成することを目的としています。これは単なる人材育成プログラムではなく、投資プロジェクトが始まる前に人材を育成するという、新たな投資誘致のアプローチでもあります。これまでに2期の国際プログラムが実施され、43名が参加しました。その目的は、教育と産業界のニーズを結び付け、機関同士の連携を促進するとともに、将来、知識集約型産業で活躍する次世代人材を育成することにあります。

「チップ・ルート・グアテマラ」は、グアテマラの投資政策を支える基本的な考え方を体現しています。それは、未来の機会は最初の投資プロジェクトが始まるはるか以前から築かれるということです。人材を育成し、制度を強化し、能力を構築することこそが、投資が国に持続的な利益をもたらすための最善の方法です。人々がイノベーションを起こし、新たな事業に挑戦し、価値を創造するための力を備えたとき、投資は成長し、その効果をさらに広げることのできる環境を見出します。

企業はこれからも最適な投資先を求め続けるでしょう。グアテマラもまた、長期的な視点のもとで発展を支える能力を強化し、投資が成長できる環境と、人々がその機会を社会全体の繁栄へとつなげることで、そうした投資判断に応え続けていきます。

お問い合わせ

駐日グアテマラ共和国大使館

E-mail: embjapon@minex.gob.gt

https://x.com/EmbajadaGt_Jap

JOI事業企画部

E-mail: bd@joi.or.jp